

インドネシア

マディウン川緊急治水事業



マディウン川

[借款概要]

承諾額/実行額	6,400百万円 / 5,936百万円
借款契約調印	1985年2月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1995年7月

[事業概要]

ジャワ島中央部にあるソロ川の支流マディウン川の河川改修工事を行うことにより、マディウン市とその周辺地域を洪水被害から防御するもの。

[評価結果]

本事業においては、ソロ川合流点上流約28km地点より57kmまでの区間約29kmについて掘削、築堤、護岸工事、橋梁建設・改良等が実施され、工事は1995年7月に完了した。

マディウン市は本事業の実施前までは、毎年慢性的に洪水被害を受けてきたが、本事業の完成後には、1998年に生じた2年確率の洪水の際にも、事業実施前は被害面積が約1万2千haであったものが、1千ha程度へと大幅に減少した。地域住民のインタビュー調査においても、洪水被害への不安から解放され生活が安定したことの他、洪水による家屋・財産・人身被害の減少、交通遮断の減少等が効果として回答されており、総じてマディウン市周辺の土地利用の改善、雇用の増加、生活水準の向上に貢献したものと評価される。

なお、近年、河床低下による河岸浸食等の問題が生じているため、JBIC援助効果促進調査(SAPS)の結果(2001年)を踏まえ、円借款により護岸補修工事等が実施される予定である。ソロ川、ポロン川同様、砂利採取の規則を含め、河川の保全体制を強化して行くことが課題である。